



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月1日

企業・団体名 株式会社富山銀行

代表者名 代表取締役頭取 中沖 雄

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日（宣言日又は令和5年4月1日）～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 持続可能な地域社会の実現</p> <p>【実施状況】 ・持続可能な社会の実現に資する活動の支援を行い、お客さまと共にSDGsの目標達成に向けた取組みを行っていくことを目的に、「富山銀行SDGs私募債」、「富山銀行エコ私募債」、「SDGs推進ローン」などのSDGs関連融資商品を積極的に推進。 ・SDGsの目標達成の見地から優れたビジネスプランを表彰する「TOYAMA SDGs AWARD 2023」を開催し、持続可能な地域社会実現を目指すお客様の取組みを後押しした。 ・「SDGsサポートサービス」の取扱いを推進し、地域企業のSDGs宣言書策定やSDGsへの取組状況の把握・分析、対外的な情報発信などを支援。 ・当行水見支店を新築移転オープン。応接室には地元産材の利用促進に向け「ひみ里山杉」を使用し、地産地消に貢献した。 ・ファミリービジネスの持続的な発展に向けた仕組みづくりの専門家による「事業承継とファミリービジネスを考察するセミナー」を開催。事業承継における成功事例やファミリービジネスの構築・運営における留意点などについて紹介し、参加されたお客様より好評を博した。 ・地域における金融教育の一環として、県内の小学生を対象に“夏休み「銀行探検隊」”を開催し、クイズやゲームを通してお金の大切さや銀行の役割を学んで頂いた。また、高岡法科大学において「寄附講義・教養特殊講義（銀行論）」を開講し、我が国の金融制度や地域金融機関の取組みにおける最新事例等について講義を実施。 ・富山県のSDGs関連事業へ寄附を行う投資信託商品の取扱いを通じ、富山県が実施する「能登半島地震からの復旧・復興及び被災地支援に関する事業等」への寄附を実施。</p>
2	<p>【目標】 健全な経営管理態勢の確立</p> <p>【実施状況】 ・各営業店において地元警察署のご協力のもと、防犯意識の醸成と非常時における職員の役割と行動の再確認を目的として、金融機関を狙った強盗事件を想定した「防犯訓練」および「特殊詐欺被害防止講習会」を継続的に実施。被害防止意識の醸成が進む中、当行石動支店、滑川支店、砺波支店では、実際に特殊詐欺を未然防止した好事例があり、管内の警察署より感謝状を授与される。 ・富山県と協働し、がん検診受診率向上コラボ作戦事業として、「がん検診受診促進週間」を設定。リーフレットによる周知や、行員のマスクや社用車にステッカーを貼るなど、がん検診普及啓発活動を実施。</p>
3	<p>【目標】 働きがいのある職場環境創り</p> <p>【実施状況】 ・リフレッシュ休暇（特別有給休暇）の日数を、半期毎2日（年間4日）から四半期毎2日（年間8日）へ倍増。 ・2021年4月より、人事制度と給与体系を10年振りに刷新し、資格給の新設によるインセンティブ制度を導入。2023年には新卒者初任給引き上げや若手・中堅行員をはじめとした賃金水準を向上させ、働きがいの向上にコミット。 ・職員の地域貢献やスキルアップ、健康増進等に対するモチベーションを高める事を目的として、「SDGsマイスター」制度を設け、半期毎に模範となる職員を選定しており、これまでに14名の行員を表彰。 ・「当行の企業価値向上」と「当行職員のSDGsの当事者意識向上」に繋げる観点より、「SDGsアクションプラン」制度を継続し、創意工夫に基づく取組みを表彰。 ・「アスリート採用」を継続し、アスリートの競技生活&社会人のデュアルキャリア充実をサポート。また、アスリートの活躍を全行員に周知することで、アスリート応援の機運を高め、行内の一体感を醸成。 ・2022年10月より「個人の荷物も職場で受け取るうキャンペーン」を継続して実施。再配達問題という社会問題や環境問題の改善、「働きやすい職場」として、行員の働き甲斐の向上などに繋げている。</p>

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。